

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

白 い ま ど

今月の色：桜の咲く春

2021年
4月1日発行
No.490

April

4

特集 わが街で健康に暮らす 16 ワクチン接種は誰のため？ P-1

- 新任医師紹介 P-4
- インフォメーション P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

ワクチン接種 は誰のため？

超高齢社会になった今では、地域で暮らす一人一人が健康意識を持つ必要があります。このシリーズでは、毎回健康に関するキーワードを取り上げ、住んでいるこの場所で健康に暮らすための方法を、一緒に考えていきます。

予防医学としての ワクチン

新型コロナウイルス感染症のワクチンは、日本でも2月中旬から接種が開始されました。医療従事者などからはじまり、高齢者や基礎疾患のある方などへ順次進められていく見込みです。この誌面が皆さんの手元に届くころには、接種が進んでいることでしょう。今回は個人とコミュニティの観点から、ワクチンの利益と害について考えていきます。

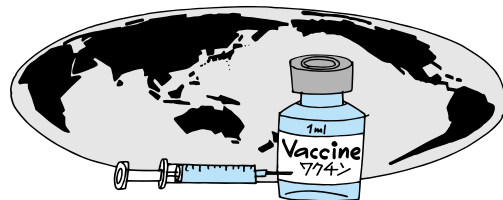
ワクチンほど人類の 死亡率低下に寄与した技術は 存在しないが…

歴史的には、さまざまなワクチンの導入により感染症の発症が抑制されています。例えば、天然痘、麻疹、

ジフテリア、ポリオ、風疹、ヒブ(Hib)感染症の年間発症はワクチン導入により99%以上減少しました。また同様に百日咳、破傷風、おたふくかぜは90%以上、A型・B型肝炎、水疱瘡は80%以上減少しています。

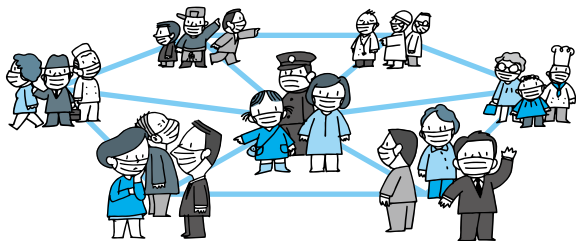
これほど効果があるワクチンですが、いまだに「ワクチン不要説」や「ワクチン害悪説」が存在するのは、ワクチンに害(副作用)があるのが一つの理由と考えられます。ワクチン接種で「痛い」「腫れた」「熱が出た」なども害の一つです。ただ、これらの害は、得られる利益より限りなく小さいと考えられるので、「痛いけど我慢する」という行動が選択されます。

しかし、すべてのワクチンが推奨されているわけではありません。実は「害が大きい」ワクチンも存在します。例えば狂犬病ワクチンは、現在日本では定期接種されていません。その理由は、日本では1956年以降、狂犬病の発症がない(輸入感染例を除く)からです。当然ですが、流行していない感染症を予防するためのワクチン接種による害は、許容できません。



ワクチンによる健康被害は救済される制度がある

ワクチンの効果は、大きく二つあると考えられます。一つは、接種を受けた個人の感染リスクを低下させる効果、もう一つはコミュニティにおける伝染リスクを低下させる効果です。コミュニティにおける接種率が下がれば、全体に伝染するリスクが高くなります。そのため、コミュニティにおけるワクチン接種率を上げることで、全体としては害よりも利益が高くなります。逆に言うと、コミュニティ全体としての利益が優先されるため、非常にまれで重篤な個人の害には「目をつぶる」ことになってしまいます。



コミュニティ全体の利益のために個人に重篤な副作用が生じた場合、十分な補償が必要となるため、ワクチン接種には定期接種・任意接種に関わらず救済制度があります。早期の感染収束のためには、ワクチン接種率を上げることが重要です。そのため、十分な補償があれば、ワクチン接種は理性的な選択となるのではないのでしょうか。 文責：総合診療内科 主任医長 本間 陽一郎

新任医師紹介

今年も桜の花便りとともに
大勢の医師が着任しました



救急科・放射線科
大熊 正剛
オオクマ セイゴウ
名古屋大学
(2010年卒)



てんかん科
波多野 敬介
ハタノ ケイスケ
東京慈恵医科大学
(2012年卒)



形成外科
大嶋 美喜子
オオシマ ミキコ
東邦大学
(2013年卒)



病理診断科
大塚 駿介
オオツカ シュンスケ
浜松医科大学
(2013年卒)



新生児科
森山 あいさ
モリヤマ
島根大学
(2013年卒)



循環器科
遠藤 奈奈
エンドウ ナナ
東京女子医科大学
(2014年卒)



眼形成眼窩外科
小島 康孝
コジマ ヤスカタ
日本大学
(2014年卒)



整形外科
三宅 央哲
ミヤケ テルアキ
藤田保健衛生大学
(2014年卒)



産婦人科
清水 陽彦
シミズ ハルヒコ
順天堂大学
(2015年卒)



産婦人科
清水 由実
シミズ ユミ
昭和三十九年
(2015年卒)



小児外科
池上 満智彰
イケガミ ミチアキ
埼玉医科大学
(2016年卒)



呼吸器内科
綿貫 雅之
ワタスキ マサユキ
浜松医科大学
(2016年卒)



小児外科
阿部 江莉
アベ エリ
順天堂大学
(2017年卒)



脳神経外科
荒川 朋弥
アラカワ トモヤ
名古屋市立大学
(2017年卒)



耳鼻咽喉科
井藤 雄次
イトウ ユウジ
聖マリアンナ医科大学
(2017年卒)



膠原病リウマチ内科
大久保 悠介
オオクボ ユウスケ
浜松医科大学
(2017年卒)

《 新任医師紹介 》



消化器内科
大城 恵吾
オオシロ ケイゴ
三重大学
(2017年卒)



神経内科
森 泰子
モリ ヤスコ
浜松医科大学
(2017年卒)



消化器内科
吉井 元
ヨシイ ハジメ
信州大学
(2017年卒)



麻酔科
岩崎 美紀
イワサキ ミキ
鳥取大学
(2018年卒)



泌尿器科
内田 浩介
ウチダ コウスケ
浜松医科大学
(2018年卒)



外科
内山 粹葉
ウチヤマ スイハ
山形大学
(2018年卒)



小児科
大場 帆乃佳
オオバ ホノカ
名古屋市立大学
(2018年卒)



消化器内科
佐藤 友香
サトウ ユカ
東京女子医科大学
(2018年卒)



消化器内科
横葉 俊太郎
シンバ シュンタロウ
浜松医科大学
(2018年卒)



呼吸器内科
八木 翔汰
ヤギ ショウタ
千葉大学
(2018年卒)



呼吸器内科
池田 新
イケダ シン
福島県立医科大学
(2019年卒)



神経内科
杉江 藍
スギエ アイ
秋田大学
(2019年卒)



救急科
角屋 悠貴
ツミヤ ユウキ
広島大学
(2019年卒)



呼吸器内科
角田 智
ツカガワ トモアキ
浜松医科大学
(2019年卒)



外科
中野 雄介
ナカノ ユウスケ
東北大学
(2019年卒)

●麻酔科
菊池 高史
キキチ タカシ
徳島大学
(2016年卒)

●外科
吉岡 義朗
ヨシオカ ヨシアキ
東京医科歯科大学
(2016年卒)

●形成外科
西岡 嶺
ニシオカ レイ
信州大学
(2018年卒)

●整形外科
桂 光志
カヅラ コウジ
京都府立医科大学
(2019年卒)

●消化器内科
金谷 和哉
カナヤ カズヤ
神戸大学
(2019年卒)

●総合診療内科
齊藤 喬
サイトウカシ
秋田大学
(2019年卒)

●腫瘍放射線科
太田 尚文
オオタ ナオフミ
浜松医科大学
(2016年卒)

●外科
粕川 宗太郎
カスカワ ソウタロウ
浜松医科大学
(2016年卒)

●泌尿器科
野田 大将
ノダ タイジロウ
日本医科大学
(2018年卒)

●産婦人科
原澤 孝綱
ハラザワ タカツナ
北里大学
(2019年卒)

《 臨床研修医(1年目)紹介 》

●総合診療科
安藤 翔
アンドウ ショウ
昭和大学
(2021年卒)

●総合診療科
飯田 圭祐
イイダ ケイスケ
北海道大学
(2021年卒)

●総合診療科
池田 理歩
イケダ リホ
東京女子医科大学
(2021年卒)

●総合診療科
伊東 夏央
イトウ ナオ
高知大学
(2021年卒)

●総合診療科
折田 巧
オリタ コウ
慶應義塾大学
(2021年卒)

●総合診療科
齊藤 琢真
サイトウ タクマ
聖マリアンナ医科大学
(2021年卒)

●総合診療科
豊田 健介
トヨダ ケンスケ
名古屋市立大学
(2021年卒)

●総合診療科
中野 謙
ナカノ ケン
北海道大学
(2021年卒)

●総合診療科
仲村 友博
ナカムラ トモヒロ
東京慈恵会医科大学
(2021年卒)

●総合診療科
畑澤 健
ハタサワ ケン
新潟大学
(2021年卒)

●総合診療科
前田 彩華
マエダ アヤカ
熊本大学
(2021年卒)

●総合診療科
松田 香欧里
マツダ カオリ
東京女子医科大学
(2021年卒)



●総合診療科
鈴木 杏菜
スズキ アンナ
九州大学
(2021年卒)

●総合診療科
中山 光
ナカヤマ ヒカル
九州大学
(2021年卒)

●総合診療科
脇 政順
ワキ マサユキ
浜松医科大学
(2021年卒)

※緊急事態宣言などの影響により、3月上旬時点で写真撮影ができていない医師は、文字のみの紹介とさせていただきます。

2021年4月の医師数
298名(4月1日現在)
よろしくお願ひします!

インフォメーション

「SEIHAMA Wi-Fi」の利用範囲拡大

利用者の皆さんからご要望の多かった無料のインターネット接続サービスが、入院病棟でもご利用いただけるようになりました。



■ A・B棟…入院病棟デイルーム ■ C棟…入院病棟

利用方法

- 1 当院のLINE公式アカウントを友だち追加
- 2 トークから「wifi」とメッセージを送る
- 3 接続方法及び利用規約をご一読いただき案内に記載されたパスワードで接続する





聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,500円(税込)を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801
(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00/祝日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状は不要です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ 産科外来(直通) ☎053-474-3067
(月～金曜 14:00～16:45/祝日を除く)

面会の方へ 現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認定
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 院長 岡 俊明